



優秀賞 静岡県建築士会賞

富士山・白糸ノ滝テラス (富士宮市)

受賞者 白糸ノ滝売店移転協議会
株式会社 千代田コンサルタント
日本大学理工学部



アクセス 新東名「新富士IC」から車で約35分
(西富士道路、国道139号を經由し、
上井出ICから車で約5分)
所在地 富士宮市上井出273-1



富士山・白糸ノ滝テラスは、世界遺産の構成資産で名勝及び天然記念物でもある「白糸ノ滝」にふさわしい景観と、魅力的な観光地の機能を求め、周辺に立地する売店群を安全な公有地へ移転・集約し、文化財保護並びに文化財を活かした休憩施設の整備を目的に 2016 年から検討が始まりました。

整備にあたっては、「白糸ノ滝売店移転協議会」（売店、富士宮市）を設立し、建設コンサルタント、大学との協働で、意見集約から造成形状、店舗配置、建築形態、景観ルール、施設全体のブランディングに至るまで協議、検討を重ねました。



店舗建築は上屋と下屋で構成され、デザインイメージを統一して建物群として見せつつ、売店ごとの特色を取り入れ、固有性と共通性を両立する建築形態としました。

上屋は、富士山方向へ片流れ屋根とすることで視線誘導を、下屋は、店舗の配置や規模により多様性を演出すると共に、招き屋根とすることで多方向からの来訪者を受け入れる役割を持たせ、軒の出や外装材、サイン等を統一しました。さらに、上屋・下屋による天井の高さの違いは、内部空間に変化を与え、外部景観を取り込むことを可能としています。

売店をつなぐ公共スペースには、ひな壇造成の段差を利用したベンチや蛇行した路地、芝生広場、無電柱化等によって富士山を眺める視点場をつくり、魅力ある空間を創出しました。



審査委員より

世界遺産の構成資産で名勝・天然記念物でもある「白糸ノ滝」周辺に立地するに恥じない売店集約化事業であり、建築デザイン、景観ルール、富士山への眺望、電線地中化等、様々な工夫や努力が見られます。関係する人々が、それぞれの立場から粘り強く合意形成をはかることに務め、富士山を中心とした統一感のある景観の創出を評価しました。